

平成22年度 横浜市歯科技工士会

学術大会のお知らせ

第2報

演 題 レーザー溶接と歯科技工パラダイムシフト

講 師 都賀谷紀宏 先生、(京都大学再生医科学研究所、工学修士、歯学博士)

【略歴】



1975 年3月 京都工芸繊維大学工芸学部卒業
1977 年3月 京都工芸繊維大学大学院修士課程修了
1977 年4月 京都大学医学部研究生
1979 年4月 京都大学医学部助手(医用材料学講座)
1990 年6月 京都大学生体医療工学研究センター助手
1991 年2月 シドニー大学歯学部客員研究員(1992年1月まで)
1998 年4月 (改組により) 京都大学再生医科学研究所助手
2007 年4月 同研究所助教

現在に至る

抜粋

現在、社会はパラダイムシフトの真っ只中である。歯科技工界における現在の生き詰まり感、この社会で起こっているパラダイムシフトにうまく対応できていないことが原因ではないかという見方が出来る。別の表現をすれば歯科技工界にもパラダイムシフトが起こっているにもかかわらず、旧パラダイムで成功した手法によって問題を解決しようとしているため、その解決の糸口がなかなか見えてこないのではないかと考えられる。では、どうすればいま起こっている歯科技工界におけるパラダイムシフトを乗り切り、新しいパラダイムに出来るのか——その答えを出すためのツール(武器)となりうるものの一つがレーザー溶接だと筆者は考えている。

概 略、パラダイムとは

パラダイムとは「ある時代や分野における規範となる『ものの見方・とらえ方』の枠組み」のことである。これが時代の変換や環境の変化により移り変わることがあり、この変化の局面のことを“パラダイムシフト”という。パラダイムシフトに適切に対応し、新しい未来を拓くためには「パラダイムシフトの後に来る新しいパラダイムは古いパラダイムと全くつながらない「非連続」なので“ひらめき”や“創造性”を働かせ認識をかえることが必要である」

レーザー溶接入門 第2回、平成19年1～6月1日発行、歯科技工 第35巻 第1～6号、別冊から抜粋した。

平成22年12月13日

小池君司

日 時 平成23年2月27日(日) PM1:00～5:00

会 場 鶴見大学会館(定員300名) 横浜市鶴見区豊岡町3-18

参加人数 先着 300名(予約を受付しています、受付は各支部長まで)

会 費 会場整理費として1,000円

連絡先 tel 045-714-0704 角田(すみた)